
[た よ り]

常任理事会だより

山川智之

本稿では、前号で報告後平成 18 年 7 月 28 日、9 月 22 日、10 月 27 日の定例常任理事会、および 10 月 7 日に開催された臨時常任理事会をあわせ、計 4 回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動についてご報告します。

1. 診療報酬改定および医療制度改革に対する対応

前号の本項でも述べたとおり、今年 6 月に医療制度改革法案が成立しました。この法案には、危機的な国家財政の状況を踏まえ患者負担増や医療費削減策が盛り込まれており、小泉政権の流れをくむ安倍政権下では、今後も厳しい医療費削減政策が遂行されることが予想されます。また平成 20 年の診療報酬改定と同時に新たに後期高齢者医療制度が創設されることが決まりました。この高齢者医療制度は現行の制度より包括化を進めるなど、医療費抑制を目指す制度になる可能性が高いと言われ、高齢患者が多数を占める透析医療にとって影響は多大になるという危惧があり、日本透析医会では、今後この制度を含めた医療政策の動向に注目し研究、分析を進めております。

9 月には日本医師会の社会保険診療報酬検討委員会より、平成 18 年の診療報酬改定の影響と問題点についての日本透析医会に対する諮問があり、10 月 7 日の臨時常任理事会ではこれに対する回答を主に検討しました。結論としては、透析医療費実態調査の結果も踏まえ、透析時間区分の復活、透析液清浄化加算の新設、感染性廃棄物処理費用の診療報酬への上乗せ、シャント PTA 技術料の新設、テンポラリーブラッドアクセス設置料の新設などを訴える内容を答申しました。

今後も日本透析医会としては、平成 20 年の診療報酬改定に向けた対応を最優先の課題として取り組んでいく所存です。

2. EPO 包括化に伴う影響に関するアンケート

日本透析医会では、平成 18 年の診療報酬改定で外来透析技術料に EPO が包括化されたのを踏まえ、この 7 月に EPO 包括化の影響に関するアンケート調査を行いました。482 施設からご回答を頂き、その結果については本号に掲載しておりますように、EPO 包括化で EPO 使用量は減少しているものの、概ね適正な腎性貧血の管理がなされている状況がうかがえました。お忙しい中アンケート調査にご回答頂いた会員施設の方々に感謝申し上げると共に、今後とも適正な腎性貧血管理を重ねてお願い申し上げます。

3. 全腎協との懇談会

10月12日東京で全国腎臓病協議会の役員の方々と意見交換会を行いました。前述の後期高齢者医療制度の問題、EPO包括化後の影響調査の報告、宇和島徳洲会病院の生体腎移植の問題などについて活発な議論が行われました。

4. 災害対策事業について

昨年より、災害時の透析患者の船舶搬送を中心に検討する日本財団助成「災害時医療支援船運用計画策定と実施」事業を、日本透析医会が中心となって進めていることは、以前の本欄でもご報告しております。2年目に入った今年度は、東京海洋大学の協力の下に首都圏でも事業を展開しており、9月2日と10月28日の2回、実際に船を使った検証航海を実施しました。9月の検証航海では実行委員が中心に参加し、小型船と東京海洋大学の実習船「汐路丸」間での乗降などの検証なども行いました。この結果も踏まえて10月の航海では、透析患者や首都圏を中心にした透析関係者にも乗船して頂き、荒川から江東区の運河を経由するなど、災害時の河川を使った患者搬送についても検討しました。この検証航海については2月に東京で報告会を開催する予定です。詳細については別途ご案内いたしますので多数の参加をお待ちしております。

10月7日には、大阪の新梅田研修センターで日本財団助成事業の一環として「災害時医療支援船構想報告講演会」を開催しました。お忙しい中ご参加いただいた方々には心より感謝申し上げます。

また平成19年1月12日から14日には、これまでの日本財団助成事業の成果を台湾にも移転する目的で、「災害時医療における船舶の活用に関する日台国際セミナー」を神戸で行うことが決定しました。主催は日本財団助成事業の関西圏プロジェクトで全面的にご協力いただいている神戸大学海事科学部で、日本透析医会は共催で参加させていただくことになっております。

なお、同セミナーの詳細については日本透析医会ホームページにてご案内させていただいております。ご興味のある方は是非ご参加ください。よろしくお願い申し上げます。

5. 第10回透析医療費実態調査について

今年で10回目となる透析医療費実態調査の結果が概ねまとまりました。今回は185施設（レセプト枚数8,823枚）の協力を頂きました。失礼ながら本誌面で御礼申し上げます。詳細については、次号（22巻1号）でご報告の予定です。

6. シンポジウムおよび研修セミナー開催について

平成19年3月11日（日）には、日本透析医会研修セミナーを東京品川のコクヨホールで開催します。内容は「透析医療におけるCurrent Topics 2007」と題して、透析医療の最新的话题を6人の演者にご講演いただく予定です。詳細は本号にご案内させていただいております。多数のご参加をお待ちしております。

7. 岡山県の透析施設における医事紛争について

新聞報道でご存じの方もいるかと思いますが、岡山県の津山第一病院で、体重設定に問題があったとして、岡山地裁が病院側の過失を認め、遺族側からの約1億3,400万円の損害賠償請求に対し、

約5,840万円の支払いを命じる判決を下しました。本人が同意しない場合家族に説明する義務がある、と裁判所が判断したという新聞報道もあり、日本透析医会としてなんらかの対応をすべきであるという会員のご意見を踏まえ、10月の常任理事会で検討しましたが、現時点では日本透析医会として本訴訟に関する対応はしない、という結論となりました。その理由は、事実関係について本訴訟の裁判記録も取り寄せたところ、裁判の争点が新聞報道とは少なからずニュアンスが異なること、当該施設が日本透析医会の会員でないこと、あくまで民事訴訟であり、現時点では不当な判決と言い切れるだけの根拠がないことなどです。会員の皆様にはご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

8. 20周年記念シンポジウム

来年、日本透析医会が20周年を迎えるにあたり、平成19年10月21日（日）に記念シンポジウムを開催する予定です。詳細については次号以降でご案内の予定です。

学会ご案内(2)

●第27回 日本アフェレシス学会

(第6回国際アフェレシス学会・第11回世界アフェレシス連合世界会議と共催)

日 時：平成19年3月2日(金)～3日(土)

代表者：秋澤忠男(昭和大学医学部腎臓内科)

会 場：パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

問合せ：昭和大学医学部腎臓内科

TEL 03-3784-8533 FAX 03-3784-5934

E-mail isfa.waa.@med.showa-u.ac.jp

URL <http://www.mtz.co.jp/isfawaaajsfa07/index.htm>

●第17回 腎と妊娠研究会

日 時：平成19年3月3日(土)

代表者：細谷龍男(東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科)

会 場：海運クラブ(東京都千代田区)

問合せ：東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科教室(宇都宮保典)

〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8

TEL 03-3433-1111 FAX 03-3433-4297

●The 12th International Conference on Continuous Renal Replacement Therapies (CRRT)

日 時：平成19年3月7日(水)～10日(土)

代表者：Ravindra L Mehta, MD

Chairman, Organizing Committee

会 場：Hotel del Coronado (San Diego, USA)

問合せ：CONFERENCE OFFICE/INFORMATION

RES Seminars

4425 Cass Street, Suite A

San Diego, CA 92109

TEL 858-272-1018 FAX 858-272-7687

E-mail res@crtonline.com

URL <http://www.crrtonline.com/conference/index.php>

●第12回 バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会

日 時：平成19年3月10日(土)

代表者：太田和夫

会 場：津田ホール(東京都渋谷区)

問合せ：天理よろづ相談所病院 腎透析科(天野 泉)

〒632-8552 奈良県天理市三島町200番地

TEL/FAX 0743-63-7851

E-mail info@vaivt.com

URL <http://www.vaivt.com>

学会ご案内

●第22回 ハイパフォーマンス・メンブレン研究会

日 時：平成19年3月17日（土）～18日（日）
 代表者：斎藤 明
 会 場：東京消防会館・ニッショーホール（東京都港区）
 問合せ：ハイパフォーマンス・メンブレン事務局（水口 潤）
 〒770-8548 徳島市北佐古1番町1-39
 医療法人川島会川島病院内
 TEL 088-631-0782 FAX 088-632-6885
 E-mail office@hpm-net.jp
 URL <http://www.hpm-net.jp>

●第27回 日本医学会総会

日 時：平成19年4月6日（金）～8日（日）
 代表者：岸本忠三（大阪大学前総長）
 会 場：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル・
 ホテルニューオータニ大阪（大阪府大阪市）
 問合せ：第27回日本医学会総会 事務局
 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2
 大阪大学医学部銀杏会館内
 TEL 06-6875-8346 FAX 06-6875-8347
 E-mail office@isoukai.jp
 URL <http://www.isoukai.jp/>

●第10回 在宅血液透析研究会

日 時：平成19年4月8日（日）
 代表者：前田憲志
 会 場：名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）
 問合せ：在宅血液透析研究会 事務局（東海大学医学部腎・代謝内科 内）
 〒259-1193 神奈川県伊勢原市望星台
 TEL 0463-93-1121（内線：2350） FAX 0463-92-4374
 E-mail zaitaku@m.med.u-tokai.ac.jp

●第95回 日本泌尿器科学会

日 時：平成19年4月14日（土）～17日（火）
 代表者：勝岡洋治（大阪医科大学泌尿器科）
 会 場：神戸ポートピアホテル（兵庫県神戸市）
 問合せ：大阪医科大学応用外科学講座泌尿器科学教室
 TEL 072-684-6430 FAX 072-684-6430
 E-mail soukai95@art.osaka-med.ac.jp
 URL <http://www2.convention.co.jp/jua95/>

学会ご案内

●World Congress of Nephrology 2007 (ISN)

日時：平成19年4月21日(土)～25日(水)

開催地：リオデジャネイロ(ブラジル)

問合せ：International Society of Nephrology (ISN)

Global Headquarters

Avenue de Tervueren, 300

1150 Brussels-Belgium

TEL +32 -2-7431546 FAX +32 -2-7431550

E-mail info@isn-online.org

URL <http://www.wcn2007.org/>